



荒木詩郎後援会ニュース

平成23年11月発行 No.43

後援会 会長 一宮 敬昭

連絡先 荒木詩郎事務所 市川市塩浜4-2-50-601 Tel: 047-395-8171

古今亭菊之丞師匠を招いて二人会 10月23日(日)

毎年恒例、今年6回目となった古今亭菊之丞師匠を招いての二人会が、ハイタウン塩浜第一住宅集会所で開催され120人を超える皆さんが参加しました。

一宮会長の挨拶に引き続いて、荒木さんから市政報告が行われました。今年4月の選挙で当選したことの謝辞からはじまり、行徳臨海部特別委員長、総務委員、議会運営委員、消防委員長、国民健康保険協議会会長などの役職を務めていること、千葉光行市長から大久保博市長になって市政運営がどう変わったのか、3・11大震災を教訓に、市川市民の安全・安心を守っていくことの重要性などについて熱っぽく語り、これからの議会での活躍を期待させてくれるものでした。

続いてお待ちかね、古今亭菊之丞師匠の落語です。

荒木さんと菊之丞師匠の出会いは9年前にさかのぼります。初めて選挙に出る時に、いつも通っていた国会の理髪店のママさんから紹介してもらった市川市民が「入船寿司(南八幡)」のご主人笹島さん。その店で毎月1度開かれる「菊之丞独演会」を見に行き、菊之丞さんを紹介されたのがはじまりです。お母様が現在塩浜にお住まいだという縁もあり、毎年後援会のために落語を聞かせに来てくれています。今回も忙しい中を、荒木さんの応援に朝早く公演先の会津若松から駆けつけて、落語を終えたらすぐ次は上野の「鈴木演芸場」へとという慌ただしさです。





今回の演題は『天狗裁き』。

いい気持ちで寝ていた男が女房に起こされ、どんな夢を見ていたのか尋ねられ、「夢なんか見ていない。」「そんなはずはない。うそつき。」と派手な夫婦げんかが始まったところから、仲裁に入った隣の親友、家主、奉行、天狗にまで夫婦げんかの元となる夢の話を問い詰められて困り果てた男の姿を、菊之丞師匠が軽妙な口調で語りかけ、集まった皆さんはすっかり聞き入り、意表を突いた「落ち」には大爆笑となりました。

落語を聞いて楽しんだあとは懇親会に移りました。今年も後援会役員の手作りで振る舞われたお弁当は、栗ご飯にてんぷら、煮物、白玉あん、漬物。テーブルには飲物やフルーツなどが並べられ、和やかに談笑の輪がつくられる中を、荒木さんがそれぞれのテーブルに話を聞いてまわりました。

今年は会場となった塩浜だけではなく、市内のたくさんの地域からの参加者があり、「荒木さんのお話は上手ですね」との声もあがるなど大好評のうちに二人会は終了しました。

荒木詩郎「茶話会」のお知らせ

日時 平成23年11月23日（水・祝） 午前10時～

場所 ハイタウン塩浜第一住宅集会所

※12月議会を前に荒木議員が皆様のご意見・ご要望を伺います

荒木詩郎・後援会の活動はホームページでも紹介しています。（アドレス <http://www.s-araki.net/>）